



支援プログラム（放課後等デイサービス）

事業所名	Bee Happy Farm 放課後等デイサービス・児童発達支援	作成日	2026年 4月 2日
事業所理念	Bee Happy Farm 放課後等デイサービス・児童発達支援は、人間的で倫理的かつ専門的な支援を通じて、子どもの総合的な発達を促進することを基本理念としています。当事業所では、利用児一人ひとりの個性やニーズ、発達のペースを尊重し、専門的かつ科学的な知識に基づいた適切な支援の提供に努めています。さらに、多職種連携と家族とのパートナーシップを重視し、専門職と保護者の協働が、子どもの成長とウェルビーイングの向上に不可欠であると認識しています。		
支援方針	Bee Happy Farm 放課後等デイサービス・児童発達支援では、子ども一人ひとりの総合的な発達を支えることを目的とし、安心して過ごせる温かい環境の中で、療育的・教育的支援を提供しています。当施設では、言語聴覚士、心理士、心理教育専門職、理学療法士等の専門職による多職種チームを編成し、連携を図りながら支援計画の作成および実施を行っています。支援は、子どもの発達状況や個々のニーズに応じて、個別支援または小集団での活動として実施しています。また、保護者の参加と協力を重視し、家庭においても子どもの発達を継続的に支えることができるよう、助言や具体的な支援方法の提案等を行っています。		
営業時間	月曜日～土曜日 9:00～18:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康および日常生活スキルに関する支援については、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) プロトコルを活用し、子ども一人ひとりの生活技能を評価しながら、自立および主体性の向上を目的とした支援プログラムを実施しています。 就学児（6～18歳）を対象に、より発展的な日常生活スキルの習得を目的とした支援を行っています。具体的には、物品の整理整頓、農園における日常活動への参加、環境を大切に作る行動、身の回りの衛生管理、簡単な軽食の準備、集団活動への参加等の経験を通して支援を実施しています。 これらの活動を通して、子どもたちの自立性、責任感および主体的な行動の発達を促しています。	
	運動・感覚	Bee Happy Farmでは、自然環境における体験活動を通して、子どもたちの運動発達および感覚発達の支援を行っています。土、砂、水、植物等の自然素材に触れる体験や、さまざまな感触を探索する活動を取り入れ、身体感覚や感覚統合の発達を促しています。 就学児（6～18歳）を対象に、より発展的な運動サーキットやバランス活動、屋外でのゲーム等を取り入れた支援を行っています。また、自然環境との関わりを深める活動や、農園における簡単な作業への参加等の体験も実施しています。これらの活動を通して、身体機能の向上、運動の組織化および主体的な行動、自立性の発達を促しています。	
	認知・行動	認知および行動の発達に関する支援については、応用行動分析（ABA: Applied Behavior Analysis）の原則に基づいた構造化された活動を通して実施しています。 これらの活動では、注意力、記憶力、思考力、問題解決能力等の認知機能の発達を促しています。 就学児（6～18歳）を対象に、ルールのあるゲーム、論理的思考を促す活動、パズル、物語の読み聞かせ、構造化された学習活動等を取り入れ、問題解決能力、計画性や社会的スキルの発達を促しています。	
	言語・コミュニケーション	言語およびコミュニケーションの発達に関する支援については、日常生活のさまざまな場面において機能的なコミュニケーションの拡充を目的とした活動を通して実施しています。 就学児（6～18歳）を対象に、語彙の拡大、文の形成、会話のやり取り、より複雑な指示の理解等を促す活動を行っています。また、会話の順番を守ることや対話を維持すること等、語用的言語能力の発達についても支援しています。さらに、必要に応じて、絵カードやコミュニケーションボード等の代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用し、機能的なコミュニケーションの向上を図っています。	
	人間関係 社会性	Bee Happy Farmでは、子どもたちの社会的スキルの発達を促すため、協力や相互交流、ルールの遵守を重視した活動を実施しています。これらの活動を通して、子ども同士の関わりおよび社会的行動の発達を支援しています。 就学児（6～18歳）を対象に、集団活動、協力ゲーム、ロールプレイ（ごっこ遊び）、共同作業等を取り入れ、コミュニケーション能力、チームワークや社会的スキルの発達を支援しています。	

<p style="text-align: center;">家族支援</p>	<p>Bee Happy Farmでは、子どもの発達を総合的に支えるため、保護者への支援を重視しています。子どもの発達状況や支援の進捗については、定期的なフィードバックを通して保護者と共有しています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を実施し、子どもの発達や支援方法に関する理解を深める機会を提供しています。さらに、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) プロトコルを活用した評価を行い、日常生活スキルの発達状況や成長の過程について保護者と共有しています。加えて、必要に応じて利用可能な支援制度や福祉サービスに関する情報提供を行い、保護者が子どもにとって適切な支援を受けられるよう支援しています。</p>	<p style="text-align: center;">移行支援</p>	<p>当施設では、子どもが利用しているさまざまな生活環境との連携を図りながら、移行支援を実施しています。具体的には、学校、幼稚園・保育園、その他の活動先や支援機関との情報共有や連絡調整を行い、子どもの状況に応じた支援の継続性を確保しています。これらの連携を通して、子どもが新たな環境へ円滑に適応できるよう支援するとともに、発達の継続的な促進を図っています。</p>
<p style="text-align: center;">地域支援・地域連携</p>	<p>Bee Happy Farmでは、子どもたちが地域社会と関わりながら多様な経験を積むことができるよう、地域とのつながりを重視した活動を実施しています。具体的には、公園、動物園、プール、商業施設、プラネタリウム等への外出活動を行い、実際の社会環境の中でさまざまな体験を得る機会を提供しています。これらの活動を通して、社会性およびコミュニケーション能力の発達を促すとともに、実生活場面における学びや適応力の向上を支援しています。</p>	<p style="text-align: center;">職員の質の向上</p>	<p>Bee Happy Farmでは、職員の専門性向上を目的として、継続的な研修および人材育成に取り組んでいます。具体的には、事業所内研修、専門的なスーパービジョン、外部研修への参加等を通して、職員の知識や技術の向上を図っています。また、職員の継続教育への参加を奨励し、大学院課程への進学や専門資格の取得、ABA（応用行動分析）や児童発達分野に関する専門研修への参加を推進しています。これらの取組により、職員が最新の専門知識を継続的に習得できる環境を整備し、科学的根拠に基づいた質の高い支援の提供に努めています。</p>
<p style="text-align: center;">主な行事等</p>	<p>Bee Happy Farmでは、年間を通してさまざまな行事や活動を実施し、子ども同士の交流や社会性の発達を促すとともに、子ども・保護者・職員のつながりを深める機会を重視しています。主な行事としては、フェスタ・ジュニーナ（ブラジルの伝統行事）、仮装パーティー、イースターイベント、子どもの日のお祝い、クリスマス会等を実施しています。これらの行事は、子どもたちが楽しみながら参加し、集団における交流や学びの機会を得ることを目的としています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を開催し、子どもの発達や支援方法に関する情報提供を行うことで、家庭との連携の強化を図っています。</p>		